

ん……ん……は……

見知らぬ場所で目を覚ました五月  
五月の周りには怪しげな少年たちが複数いる  
少年たちは五月に襲いかかった





一体何を

な…何ですか？



こんな事したら  
いけません！

それにあなた達は  
まだ子〇もでしょう

早すぎます！

もみ

むにゅ

むにゅ

むにゅ

もみ



離しなさい!!  
いい加減にしないと

怒りますよ!!  
引っ叩きますよ!!

もみ

むにゅ

むにゅ

むにゅ

もみ





っそこは

ふーっ

ふーっ

あんまりっ弄ったら

いけませんっから

くわ

わく

くわ

くわ

どうしましょう  
言葉が通じて  
いないのでしょうか

だとしたらどうすれば  
私の英語力ではどうにも…



少年たちは五月の  
大きな乳房に  
むしやぶりつきながら



ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

巨大なイキモツを  
太ももに擦り付け始めた



言葉が通じなくても  
表情や態度で分かるはず…

はー！

はー！

それでも止めないと  
いうことは  
止める気がない…と

ツリ

ツリ

ツリ

ツリ



抵抗ができません

体が感じて…  
力が抜けていって





うう：脚に何か  
硬くて熱いものが...

これってまじか...

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

んっ

んっ



おっぱいを弄られて  
いるだけなのに

どうしてこんなになっ  
て力が抜けるのしょうか...

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

終わりましたか…？

気が済んだのなら…  
離してください…

私…早く  
帰らないと…



こ…これは  
何という…

すごく大きくて  
とてつもない香り



そんな…  
この子達の目的は

私を犯すこと…

ぬっほ

ぬっほ

ぬっほ

ぬっほ

ぬっほ

ぬっほ





ああっ!!

トコ

トコ

て

ほおお



このままでは子〇もに  
犯されてしまいます…

はー、

はー、

何とか抵抗して  
逃げなくては…

それにしても  
すごい匂いです  
量も多くて熱くて…

と

ろ

お

お

おお

少年達は五月が暴れないように  
太ももまでしっかり押さえ込んだ

五月は必死に抵抗するが  
無意味に終わってしまう



少年は五月の  
恥部にむしゃぶりついた

五月の恥部からは  
すでに愛液溢れていた



ダメです！  
いけません！

はーっ

はーっ

そこは汚い所  
ですから！

やめて下さい！

ちゅる

ちゅる

ちゅる

ちゅる

ちゅる

ちゅる

ちゅる



少年は五月の  
言うことを無視し

膣から溢れ出る芳醇な  
愛液を味わい続けた





頭も変になりそう...っ

っ...今度は体に痺れが...

vo vo vo vo



終わりましたか…

は…

えっ…今度は何ですか

は…

ピキ

ピキ

朦朧とする五月の  
前に少年の巨大な  
ペオスが現れた





それだけはっ…

それは…

ずり

ずり

ずり



やめて下さい!!

そんなもの  
擦り付けないで!!

あなた達には  
まだ早すぎます!!

ずり

ずり

ずり



他の事なら  
してもいいので

それだけは...  
んんんツ!!

んんん

ビクッ

んんん

ビクッ

んんん



そんなんっ…

子供のおち○ちんが  
私の中に…

あゝ、3P

あゝ、3P

あゝ、3P



嘘です…

これはきつと夢です

五月はあまりの  
衝撃に現実を  
受け止められずにいた

ぬっ3P

ぬ3P

ぬ3P

しかし体を襲う感触は生々しく  
残酷な現実を受け入れざるを得ない





あああ!!

フッ

ビュッ

ぬ、

これでは…

はーっ

そんな…

はーっ

中に出す  
なんて…

妊娠してしまいました

ニトキキ





最低です…  
あなた達…

こんな事  
するなんて

ふー、

ふー、



放心状態の  
五月にも構いなく

次の少年の  
ビキビキのイチモツが  
五月の前に現れる





私の中に...

苦しい...  
あんなに  
大きなモノが

ふーっ

ふーっ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ



息がっ...

はー

はー

激しっ  
すぎっ  
ます

ぽん  
ぽん  
ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん





ひどい...

はー

はー

また中に...

ぬほん

こんな事しても  
いいと思って  
いるのですか…？

あなた達いい加減に  
しないで後できつと  
後悔しますよ

…お…



五月がどんな言葉を  
投げかけても



31-?

31-?

わん

すっすっ

すっすっ

パン

パン

パン

パン

少年たちには  
届くことはなく







無慈悲に  
少年の子種が

五月の膣内に  
注がれてしまった



あまりの出来事

非日常

強烈なニオイ

はー！

はー！

激しい嫌悪

怒り

初めての快楽

トォォ

五月は限界を迎えてしまい  
眠るように気を失った

トォ...

翌日

少年たちの住処らしき所で  
五月は目を覚ました



朝からこんな事をするなんて

なんて破廉恥な



こんな事で…  
感じてしまう私も

偉そうには  
言えないのですが…

ずく  
ずく

ずく  
ずく

く  
く  
く

く  
く  
く

何かか…込み上がって  
くるような

この感覚は…





えっ!?

おっ

ユ

うう



どうして母乳が…

はー！

はー！

私の体はどうして  
しまったのですか？



ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

あっそんなに  
美味しそうに  
飲むなんて

あ

あ

今っ敏感なんですから  
ちよっと待って…



vo

vo

vo

vo

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

まさか妊娠…

そうだとしても

出産の前にこんなに  
出ることは無いはず…

私の体に何が  
起きているのですか？





こんな...  
こんな事って

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ちゅ

ちゅ



知らない  
少年の子供を

妊娠してしまっ  
た  
かもしれない  
なんて

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

んっ

んっ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ



体が痙攣し  
激しい動悸が起こる



五月に何か  
起き始めていた

少年達は五月を  
外に連れ出した

このまま解放される  
なんて淡い期待は  
すぐに打ち砕かれた





五月が抵抗する  
気がないと分かり  
拘束を緩める少年たち

しかし五月を  
犯すことは変わらず



私はいつまで  
このような目に...

早く帰らないと...  
皆が心配しているはず





でも...  
どうやって...

この状況から  
抜け出せばいいの...  
かつ...

ああ...  
まずいです...

あっ

あっ

ずっ

ずっ

ずっ

ずっ

ずっ

ずっ

ぬち+

ぬち+

ずっ

ずっ

ずっ

ずっ



あまりにこに  
長居してはいけない……

きつと後戻り  
出来なくなるはず……



五月は力を振り絞って  
少年たちから逃げ出した

しかしあっさりと  
捕まってしまい  
再び押さえつけ  
られてしまう

今度は逃げ出さない  
ようにしっかりと



ぬちゃ  
ぬちゃ

もみ  
もみ

ぬちゃ

もみ

はーっ

はーっ

この子達の力を  
悔っていました

もみ  
もみ

ぬちゃ  
ぬちゃ

ぬちゃ

油断させるまでは  
良かったのですが

もみ

ふーっ

ふーっ

それなら次の  
手を考えないと

ぬちゅ  
ぬちゅ

もみ  
もみ

ぬちゅ

恐らく  
もう手を緩める  
事はないはず…

もみ

はーっ

はーっ





この子達を  
叱るような大人は

ぬちゅ  
ぬちゅ

もみ  
もみ

ぬちゅ

他に人は  
いないのでしょうか

もみ

はーっ

はーっ



言葉が通じる人なら  
助けてくれるかも

ぬちゅ  
ぬちゅ

もみ  
もみ

ぬちゅ

まともな  
人間…

もみ

ふーっ

ふーっ



この子達がそれを  
許すとは思えません

ちゅう

んっ  
ん

ちゅう

しかし探索  
しようにも

ふー！  
？

ふー！  
？

んっ







また…  
母乳が…

はー

はー

がやる

がやる

私のおっぱいは  
美味しいのですか？

はー、

はー、

がやる

がやる





必死にっ  
奥っ  
突いて

こんな

んっ

ん

すっすっ

すっすっ

すっすっ

すっすっ





こんなの

気持ちいいに

決まっています

あ

あ

ぐっ

ぐっ

ぐっ

ぐっ

ぐっ

ぐっ

はっ

はっ





!!!

!!  
!!  
!!

!!  
!!  
!!

!!  
!!  
!!

少年は五月が  
自分のメスだと  
言わんばかりに

しっかりとしがみ付き  
子宮に直接その濃厚な  
子種を流し込んだ



その後も五月は日が暮れるまで  
犯され続け



夜になり

住処に  
帰っても尚



はー

はー

シコ

シコ  
シコ

シコ

シコ

ビキ

ビキ

シコ

少年達は  
休むこともなく

五月を変わるがわる  
交わり続けた

あ、

あ、

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ



逃げ出そうとした罰

あ、

あ、

五月が我々のメスだと  
分からせるために







五月は抵抗する  
事もなく

少年たちを説くような  
言葉も投げかけず



ありのままの感情を  
受け入れ始めていた



...ト

翌日、少年たちに襲われることもなく

五月はここにきて初めて平穏な朝を迎えた

食事のジエスチャーをとって説得を試みる

少年たちと多少の意思疎通が出来る様になっていた

少年たちが付き添うことで島の探索を許された

食料を探しながら島の広さの確認、他の居住者探し

その間も少年は五月をぴったりマークする

だが五月が怪しい行動を取らなければ

何にもしないようである

合間に少年達の求めに  
応じる事はあったが





31-?

31!

3P  
3ん

3P  
3ん

9  
2  
4

3P

9  
2  
4

9  
2  
4

3P

3P

9  
2  
4







比較的安  
全に  
探索を  
終えた



はーっ

はーっ

げと

げと

おっ

ねとあ

島は一日で回れるほどの広さで他に住民は無し

いくつか食料になりそうな木の実は見つけたが

不思議と腹は空いていない

帰る方法は近くに船でも通りかからないとなさそうだ

なのに自分がどうしてここに来たのか分からない

記憶が曖昧ではっきりしない

そんなモヤモヤも少年たちと  
交わっている間は忘れられた







3P

3P

3P  
3P

3P  
3P

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

3P

ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ

3P

3P

ちゅ

ちゅ



どうにか  
帰らなくては

それまでの間は  
この子達と…

ねとあ

お…





そんなっ…まさか  
お尻にも挿入れる気ですか!?

はっ

ぢやう

ぢやう

はっ

ぢやる

ぢやる

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ





五月は期待と不安で戸惑っていた  
しかし少年たちは止まらない



あ、ちや

あ、3P  
あ、3P

あ、3P

あ、ちや

んんん?

あああ…何という  
事でしょう…

本当にお尻にまで  
入れてしまうなんて

はー！

はー！

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ぬ、3P  
ぬ、3P

ぬ、3P





すごい...っ  
気持ちいい...っ

こんなの...  
初めてッ

あ

あ

あ、3P

ちや

ちや

あ、3P

あ、3P



F

P

あぁん



と!!

は!!

ああ…  
たくさん出てる…

は!!

お尻にまで…

ろおく

おお



なんと  
凄まじい性欲…

私も  
見習わなくては…

島に来て数日…この日は  
海が見える場所で  
発情した五月と少年たち







今遠くに船が

ぬち+

ぬち+

ずい、

ずい、

見えたような…

あ、

あ、

あ、

ちる  
ちる  
ちる



はー

はー

ぬち+  
ぬち+

ぬち+  
ぬち+

そんな事よりっ...

ぬちぬち  
ぬちぬち  
ぬちぬち

ぬちぬち  
ぬちぬち



あっイキますっ...

イイワク!!!

ん

ん

10-

10-

10-

10-

10-

わく


わく

わく

わく

わく





帰るチャンスよりも目先の  
快楽を優先してしまった

しかし彼女に  
後悔の念など無い

それからも  
昼夜場所を問わず

少年たちと  
交尾をし続け



あ

あ

す

す

す

す

ぬち+  
す 3P

ぬち+  
す 3P

ぬち+

ぬち+

す 3P

あっ交尾  
気持ちいいっ

あっ

あっ

あっ 3P

あっ 3P

あっ

あっ

あっ 3P









M

30

130

30

おち○ちんが  
気持ち良すぎ……

これさえあれば……  
他に何も……

五月の頭の中は  
交尾の事で  
溢れかえっていた

べっとおおお

うっ  
うっ





はー！

はー！

ぬち+

ぬち+

凄くいい匂い

ちゅる  
ちゅる  
ちゅる

美味しそうですね

す、す、す、  
す、す、す、









三か所で同時に射精を受け  
快樂に浸る五月

私何か…

大切なことを  
忘れていたような…

何でしょう…





性欲にまみれた五月は  
最早別人と化した  
大切な人たちの存在を忘れ  
もうそれに気づく事もない

でもこの快楽に  
比べたら

きっと些細な事  
なのでしよう

ちゅる  
ちゅる  
ちゅる



ん……ん……は……

見知らぬ場所で目を覚ました五月  
五月の周りには怪しげな少年たちが複数いる  
少年たちは五月に襲いかかった





一体何を

な…何ですか？



こんな事したら  
いけません！

それにあなた達は  
まだ子〇もでしょう

早すぎます！

もみ

むにゅ

むにゅ

むにゅ

もみ



離しなさい!!  
いい加減にしないと

怒りますよ!!  
引っ叩きますよ!!

もみ

むにゅ

むにゅ

むにゅ

もみ





っそこは

っいーっ

っいーっ

あんまりっ弄ったら

いけませんっから

っい

っい

っい

っい

どうしましょう  
言葉が通じて  
いないのでしょうか

だとしたらどうすれば  
私の英語力ではどうにも…





少年たちは五月の  
大きな乳房に  
むしやぶりつきながら



ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

巨大なイキモツを  
太ももに擦り付け始めた

言葉が通じなくても  
表情や態度で分かるはず…

はー！

はー！

それでも止めないと  
いうことは  
止める気がない…と

ツリ

ツリ

ツリ

ツリ



抵抗ができません

体が感じて…  
力が抜けていって





うう…脚に何か  
硬くて熱いものが…

これってまじか…

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

んっ

んっ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



おっぱいを弄られて  
いるだけなのに

どうしてこんなになん...  
力が抜けるのでしょうか...

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

終わりましたか……？

気が済んだのなら……  
離してください……

私……早く  
帰らないと……

ふーっ

ふーっ



こ…これは  
何という…

すごく大きくて  
とてつもない香り



そんな…  
この子達の目的は

私を犯すこと…

ぬっほ

ぬっほ

ぬっほ

ぬっほ

ぬっほ

ぬっほ







あぁっ!!

トコトコ

トコトコ

て

ほおお

このままでは子〇もに  
犯されてしまいます…

はー、

はー、

何とか抵抗して  
逃げなくては…

それにしても  
すごい匂いです  
量も多くて熱くて…

と

ろ

お

お

お

少年達は五月が暴れないように  
太ももまでしっかり押さえ込んだ

五月は必死に抵抗するが  
無意味に終わってしまう



少年は五月の  
恥部にむしゃぶりついた

五月の恥部からは  
すでに愛液溢れていた



ダメです！  
いけません！

はー

はー

そこは汚い所  
ですから！

やめて下さい！

ちゅる

ちゅる

ちゅる



少年は五月の  
言うことを無視し

膣から溢れ出る芳醇な  
愛液を味わい続けた





頭も変になりそう...っ

っ...今度は体に痺れが...

ぶー

ぶー

vo

vo

vo

vo

びく

びく

びく

びく





終わりましたか…

はーっ

えっ…今度は何ですか

はーっ

はーっ

はーっ

はーっ

朦朧とする五月の  
前に少年の巨大な  
ペオスが現れた

くろお

それだけはっ…

ずり

ずり

それは…

ずり



やめて下さい!!

そんなもの  
擦り付けないで!!

あなた達には  
まだ早すぎます!!

ずり

ずり

ずり



他の事なら  
してもいいので

それだけは...  
んんんツツ!!

んんん

ビクッ  
ビクッ

ガッ

ズン

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ



そんなんっ…

子供のおち○ちんが  
私の中に…

あゝ、3P

あゝ、3P

あゝ、3P



嘘です…

五月はあまりの  
衝撃に現実を  
受け止められずにいた

これはきつと夢です

ぬ、3P

ぬ、3P

ぬ、3P

しかし体を襲う感触は生々しく  
残酷な現実を受け入れざるを得ない





あぁあ!!

フッ

ビュッ

ぬ、

これでは…

はーっ

そんな…

はーっ

中に出す  
なんて…

妊娠してしまいました

ニトキキ







最低です…  
あなた達…

こんな事  
するなんて

ふー

ふー

放心状態の  
五月にも構いなく

次の少年の  
ビキビキのイチモツが  
五月の前に現れる





私の中に...

ふーっ

ふーっ

苦しい...  
あんなに  
大きなモノが

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ



息がっ...

はー

はー

激しっ  
すぎっ  
ます

ぽん  
ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

ぽん





また中に...

はー！

はー！

はー！...

ぬぽん

こんな事しても  
いいと思って  
いるのですか…？

あなた達いい加減に  
しないと後できつと  
後悔しますよ

…OT=



五月がどんな言葉を  
投げかけても



31-?

31-?

わん

わん わん わん わん

ずち、ずち、ずち

ずち、ずち、ずち

パン

パン

パン

パン



少年たちには  
届くことではなく



ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん

ずずず

ずずず



無慈悲に  
少年の子種が

五月の膣内に  
注がれてしまった



ぬほん

ドッ

ドッ

ひく

ひく

ひく

ひく

ひく

はー！

はー！

ドッ

ドッ

ひく

ひく

ひく

ひく

あまりの出来事

非日常

強烈なニオイ

激しい嫌悪

怒り

初めての快楽

五月は限界を迎えてしまい  
眠るように気を失った

はーっ

はーっ

トォォ

トォ...



少年たちの住処らしき所で  
五月は目を覚ました



朝からこんな事をするなんて

なんて破廉恥な



こんな事で…  
感じてしまう私も

偉そうには  
言えないのですが…

ずく  
ずく

ずく  
ずく

くわ  
くわ

くわ  
くわ

くわ  
くわ

くわ  
くわ



何かが…込み上がって  
くるような

この感覚は…







えっ!?

おっ

ユウウウウ

どうして母乳が…

はー！

はー！

私の体はどうして  
しまったのですか？



vo

vo

vo

vo

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

あっそんなに  
美味しそうに  
飲むなんて

あ

あ

今っ敏感なんですから  
ちよっと待って…



Vo

ちゅぽ

Vo

Vo

Vo

ちゅぽ

ちゅぽ

まさか妊娠…

そうだとしても

出産の前にこんなに  
出ることは無いはず…

私の体に何が  
起きていますのですか？





こんな...  
こんな事って

ふー

ふー

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ



知らない  
少年の子供を  
妊娠してしまった  
かもしれないなんて

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

んっ

んっ

んっ

んっ

ちゅちゅ



あ

あ

ゴゴゴ

チキチキチキ

ジュジュジュ

ズク

ズク

ズク

ズク

ズク

ズク

体が痙攣し  
激しい動悸が起こる



五月に何かが  
起き始めていた



少年達は五月を  
外に連れ出した

このまま解放される  
なんて淡い期待は  
すぐに打ち砕かれた



五月が抵抗する  
気がないと分かり  
拘束を緩める少年たち

しかし五月を  
犯すことは変わらず



私はいつまで  
このような目に...

早く帰らないと...  
皆が心配しているはず

あ、

あ、

ぬち+  
9,3P

ぬち+  
9,3P

ぬち+

ぬち+

ぬち+  
9,3P





でも…  
どうやって…

この状況から  
抜け出せばいいの…

あぁっ  
まずいです…

あっ

あっ

びく

びく

びく

ずっ  
ずっ

ずっ  
ずっ

ずっ  
ずっ

ぬち+

ぬち+

ぬち+

ぬち+

びく

びく

びく

びく

びく

びく



ああ!!

ビク

ビク

ッ

30!!

あまりにこに  
長居してはいけない……

きつと後戻り  
出来なくなるはず……



五月は力を振り絞って  
少年たちから逃げ出した

しかしあっさりと  
捕まってしまい  
再び押さえつけ  
られてしまう

今度は逃げ出さない  
ようにしっかりと



この子達の力を  
悔っていました

ぬちゅ  
ぬちゅ

もみ  
もみ

ぬちゅ

油断させるまでは  
良かったのですが

もみ

ふーっ

ふーっ





それなら次の  
手を考えないと

ぬちゅ  
ぬちゅ

もみ  
もみ

ぬちゅ

恐らく  
もう手を緩める  
事はないはず…

もみ

はーっ

はーっ



この子達を  
叱るような大人は

ぬちゅ  
ぬちゅ

もみ  
もみ

ぬちゅ

他に人は  
いないのでしょうか

もみ

はーっ

はーっ



言葉が通じる人なら  
助けてくれるかも

ぬちゅ  
ぬちゅ

もみ  
もみ

ぬちゅ

まともな  
人間…

もみ

ふーっ

ふーっ



この子達がそれを  
許すとは思えません

んっ  
ん

ちゅ

ちゅ

しかし探索  
しようにも

ふー！  
？

ふー！  
？

んっ









また...  
母乳が...

はー

はー

がやる

がやる

がやる

がやる

がやる

がやる

私のおっぱいは  
美味しいのですか？

はー、

はー、

がやる

がやる







こんな

必死に  
奥に  
突いて

ん

ん

すちすち  
すちすち  
すちすち

1P  
すちすち

1P  
1P

すち



気持ちいいに決まっています

気持ちいいに

こんなの

あ

あ

1P-

ぐっ

ぐっ

ぐっ

1P-

1P-

ぐっ

ぐっ





少年は五月が  
自分のメスだと  
言わんばかりに

しっかりとしがみ付き  
子宮に直接その濃厚な  
子種を流し込んだ



その後も五月は日が暮れるまで  
犯され続け



夜になり

住処に  
帰っても尚

はー

はー

シコ

シコ  
シコ

ビキ

ビキ



少年達は  
休むこともなく

五月を変わるがわる  
交わり続けた

あ

あ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ





逃げ出そうとした罰

あ、

あ、

五月が我々のメスだと  
分からせるために





五月は抵抗する  
事もなく

少年たちを説くような  
言葉も投げかけず



ありのままの感情を  
受け入れ始めていた



翌日、少年たちに襲われることもなく

五月はここにきて初めて平穏な朝を迎えた

食事のジエスチャーをとって説得を試みる

少年たちと多少の意思疎通が出来る様になっていた

少年たちが付き添うことで島の探索を許された

食料を探しながら島の広さの確認、他の居住者探し

その間も少年は五月をぴったりマークする

だが五月が怪しい行動を取らなければ

何にもしないようである

合間に少年達の求めに  
応じる事はあったが





31-?

31!

3P  
3ん

3P  
3ん

9  
2  
5  
4

3P

9  
2  
5  
4

3P

3P

9  
2  
5  
4







あ

ひび

ひび

ゴッ

ゴッ

ひび

ひび

ひび

ひび

ひび

ひび

ひび

比較的安  
全に探  
索を終  
えた



はーっ

はーっ

げと

げと

おと

ねとあ

島は一日で回れるほどの広さで他に住民は無し

いくつか食料になりそうな木の実は見つけたが

不思議と腹は空いていない

帰る方法は近くに船でも通りかからないとなさそうだ

なのに自分がどうしてここに来たのか分からない

記憶が曖昧ではっきりしない

そんなモヤモヤも少年たちと  
交わっている間は忘れられた







3P

3P

3P  
3P

3P  
3P

3P  
3P  
3P

3P

3P  
3P

3P  
3P

3P  
3P

3P

3P

3P

3P



んんん!!

んんん!!

んんん!!

Y

んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!

どうにか  
帰らなくては

それまでの間は  
この子達と…

ねとあ

お…







はー

ちやう

ちやう

はー

ちやる

ちやる

そんなっ...まさかお尻にも挿入れる気ですか!?

はー

はー

はー

はー

はー

はー



五月は期待と不安で戸惑っていた  
しかし少年たちは止まらない



ちや ちや

ちや ちや

ちや

ちや ちや

んんん

あああ…何という  
事でしよう…

本当にお尻にまで  
入れてしまうなんて

はー！

はー！

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ぬ、3P  
ぬ、3P

ぬ、3P





すごい...っ  
気持ちいい...っ

こんなの...  
初めてッ

あ

あ

ちや

ちや

3P

3P

3P





と!!

は!!

ああ…  
たくさん出てる…

ろおく

お尻にまで…

おお



なんと  
凄まじい性欲...

私も  
見習わなくては...

ちゅっ

ちゅっ

ふっ

ちゅる

ちゅる

ちゅる

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



島に来て数日…この日は  
海が見える場所で  
発情した五月と少年たち





今遠くに船が

ぬち+

ぬち+

すし、  
すし、

すし、  
すし、

見えたようだな…

あ、

あ、

あ、

ちる  
ちる  
ちる



はー

はー

ぬち+

ぬち+

そんな事よりっ...

ぬち+

ぬち+

ぬち+

ぬち+

ぬち+



あっ イキますっ...

イイワク!!!

ん

ん

10-

10-

10-

10-

10-

わく

わく

わく

わく

わく



帰るチャンスよりも目先の  
快楽を優先してしまった

しかし彼女に  
後悔の念など無い



それからも  
昼夜場所を問わず

少年たちと  
交尾をし続け



あ

あ

す

す

す

す

す 3P

す 3P

す

す

す 3P

あっ交尾  
気持ちいいっ

あっ

あっ

あっ 3P

あっ 3P

あっ

あっ

あっ 3P









おち○ちんが  
気持ち良すぎ……

これさえあれば……  
他に何も……

五月の頭の中は  
交尾の事で  
溢れかえっていた

べっとおおお

うっ  
うっ



はー！

はー！

ぬち+

凄くいい匂い

ぬち+

す、す、す、

す、す、す、

美味しそうですね

ちゅる  
ちゅる  
ちゅる













三か所で同時に射精を受け  
快樂に浸る五月

私何か…

大切なことを  
忘れていたような…

何でしょう…

あ、

あ、

あ、

ねえ…

ちゅる  
ちゅる  
ちゅる



性欲にまみれた五月は  
最早別人と化した  
大切な人たちの存在を忘れ  
もうそれに気づく事もない

でもこの快楽に  
比べたら

きっと些細な事  
なのでしょ

ちゅる  
ちゅる  
ちゅる

